

教務部の取組

教務部長 藤本 祐作

1 本年度の目標

<small>スリーエス</small> ”SSS (Seamless Special School)”project
すべての人の意見や価値観を尊重し、隔たりをなくし、 なめらかですべての人の想いと取り組みが繋がった、 姫路別所高校を「最高級の教育の場」にする。

- (1) 生徒の興味・関心・能力・適性、進路希望等に基づいて自己実現が図れる教育課程を編成する。
- (2) 生徒一人一人の学習到達状況を把握し、きめ細かな指導を行うことで、基礎・基本の確実な定着を図る。
- (3) 教員の指導力向上を図り、シラバス、授業アンケートを活用することで指導内容、指導方法の工夫・改善に努め、生徒に学ぶ楽しさや充実感が味わえる魅力的な授業を展開する。
- (4) 自ら学び、問題解決できる能動的な学習姿勢を培い、「確かな学力」を育む。

2 重点課題

- (1) 令和4年度からの「新学習指導要領に対応した最適な教育課程」を編成する。
- (2) 学習習慣を確立させ、研究授業、授業評価を充実させることも活かして、「わかる授業」を推進し、「確かな学力」を身につけさせる。
- (3) “探究”への姿勢がより重要になってくるこれからの教育に先駆け、「総合的な探究(学習)の時間」では2・3年生でのゼミ形式での探究活動を開始する。この授業への準備、取組み、振り返りを、普段の授業やあらゆる教育活動において、アクティブラーニングなど探究型・知識活用型へとアップデートしていくにおいて活用しやすい環境を整える。

3 「重点課題」の克服のための具体的な取組

- (1) 進路希望に応じた特色ある教育課程を編成し、新1年生における2年次からの一部の選択科目を全生徒対象とする準備を確実に進行。R4入学生からの新しい教育課程の実施に向けた準備を進める。
- (2) 少人数授業やティームティーチングの授業を活かし、基礎学力の定着を図る。
- (3) 授業内容の精選を図り、生徒が興味を持ち、達成感、成就感を味わえる授業を展開する。
- (4) 関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4つの観点についての評価基準を明確にし、きめ細かな指導計画を立てる。
- (5) 「総合的な探究の時間」の実施においては、新しい時代に求められる教育を行う場としてはもちろんのこと、その教育を考える場としても全職員で意欲的に取り組み、これからの「総合的な探究の時間」の進め方、また各教科における「探究心を育む授業」の展開へのノウハウを蓄積できるように努める。
- (6) 各種施設との交流、外部講師招聘などを通して、魅力ある授業を目指す。
- (7) 研究授業においては、より多くの教員が研修を行えるよう促し、公開授業月間・授業アンケートを活用して授業改善に努める。
- (8) 分教室との交流及び共同学習をとおして、共生の心を育む。
- (9) 生徒の個人情報管理を徹底する。

4 主な年間計画

- (1) 6月 授業公開マンス
- (2) 8月 令和3年度実施教育課程確定
- (3) 9・10月 令和3年度シラバス完成 → 教育課程説明会 → 選択科目講座人数決定
- (4) 11・12月 授業アンケート実施
- (5) 適宜 研究授業の実施